

主題：神のエコノミーと分与

メッセージ 2

神聖な三一の神聖な意図、神聖なエコノミー、神聖な分与

聖書：エペソ 1:5, 9-11, 3:9-11, 14-21, II コリント 13:14, 啓 4:11, 21:2, 10-11

- I. 聖書に啓示された最も重要で奥義的な事柄は、神の究極の意図が、キリストにあるご自身を彼の選ばれ贖われた人の中へと造り込んで、彼らを彼の団体の表現とすることであるということです——エペソ 3:14-21：
- A. 神の永遠の意図は、キリストをわたしたちの存在の中へと造り込んで、わたしたちをキリスト・人とすることです。キリスト・人は、キリストをもって、またキリストによって満たされ、所有され、浸透されています。全宇宙でこの事柄ほど重要で、基本的なことはありません——啓 4:11, ガラテヤ 2:20, 4:19, コロサイ 3:4, 10-11：
1. キリストにあるご自身をわたしたちの存在の中へと造り込むという神の願いは、聖書における神聖な啓示の中心点です——ガラテヤ 1:15-16, 2:20。
 2. 聖書における命の要因は、ご自身をわたしたちの中へと造り込むという神の意図です——4:19。
- B. 神の永遠の意図は、キリストをわたしたちの存在の中へと造り込むことです。この意図を完成するために、神はわたしたちを、彼を入れる器として創造し、わたしたちに彼を受け入れる霊的な器官を与え、キリストは命を与える霊と成ってわたしたちの霊の中へと入りました——エペソ 3:14-17 前半, 創 2:7, I コリント 15:45 後半。
- C. 神の意図は、ご自身をわたしたちの中へと分与し、ご自身をわたしたちの中へと、わたしたちの命、性質、すべてとして造り込んで、最終的に彼とわたしたち、わたしたちと彼が共にミングリングされ、わたしたちが彼の表現となるに至ることです——エペソ 4:4-6。
- D. 神聖な意図は、わたしたち、キリストにある信者を、神格においてではなく命と性質において神と同じにすることです——ヨハネ 1:12-14, I ヨハネ 3:1-2：
1. 神の意図はわたしたちを、神格においてではなく彼の神聖な命、彼の神聖な性質、彼の表現としての彼のかたちにおいて、彼のようにすることです。このように神がわたしたちを彼のようにすることは、実はわたしたちを神とすることを意味します——コロサイ 3:4, II ペテロ 1:4, II コリント 3:18。
 2. 神はその霊としてのキリストにあるご自身をわたしたちの中へと分け与えました。それは、わたしたちを神格においてではなく命と性質において、彼であるのと同じにするためです。これが神聖な意図です——ローマ 8:11, II コリント 13:14, II ペテロ 1:4。
- II. 神聖なエコノミーとは、神が人と成ったのは人が神格においてではなく命と性質において神となり、三一の神の有機体、キリストのからだを生み出して、それが新エルサレムにおいて究極的に完成するということです——ローマ 1:3-4, 8:3, 6, 10-11, 16。

12:4-5. 啓 21:2, 10-11 :

- A. 神聖なエコノミーは、神のみこころ、定められた御旨、大いなる喜び、熟慮の結果です——エペソ 1:5, 9-11. 3:9-11 :
1. 神のみこころは神の嘆願、神の願望です。神のみこころは、神が行なうのを嘆願し、行なうのを願うものです——啓 4:11. エペソ 1:5。
 2. 神の定められた御旨は、神が前もって意図したものです。神の永遠の定められた御旨は、過去の永遠において立てられた彼の永遠のご計画です—— 9 節. 3:11。
 3. 神の大いなる喜びは、神を幸いにするものです。それは神が好むもの、彼を喜ばせるものです—— 1:5, 9. ピリピ 2:13。
 4. 神の熟慮は神聖な三一の会議において完成された神の決議です——エペソ 1:9. 使徒 2:23. I ペテロ 1:20。
 5. 神のみこころ、定められた御旨、大いなる喜び、熟慮の後、神のエコノミー（神の家庭の行政、神のご計画と案配）があります—— I テモテ 1:4. エペソ 1:10. 3:9。
- B. 神聖なエコノミーとは、神が肉体と成り、人の生活を経過し、死に、復活し、命を与える霊と成って、命としてわたしたちの中へと入り、神をわたしたちの中へと分与して、わたしたちが造り変えられて召会を生み出すことです。召会はキリストのからだ、神の家、神の王国、キリストの配偶者であり、その究極の集大成は新エルサレムです——ヨハネ 1:14, 29. 使徒 2:24. I コリント 12:12-13. 15:45 後半. I テモテ 3:15. 啓 5:10. 21:2。

III. 神聖なエコノミーの完成は、神聖な三一の神聖な分与によります——II コリント 13:14. エペソ 1:3-23. 3:14-21 :

- A. 神聖なエコノミーは、神の願いと定められた御旨からの神のご計画と案配です。神聖な分与は、このご計画と案配にしたがった神の分与と分配です—— 1:5, 9-11. 3:14-17 前半。
- B. 神に関して新約で述べられているあらゆることは、神聖なエコノミーのための神聖な分与と関係があります——ローマ 8:3, 11. エペソ 1:3-23 :
1. 聖なる御言における三一の神に関する啓示は、教理的な理解のためではなく、神聖な三一における神を彼の選ばれ贖われた人の中へと分与して、彼らの経験と享受となることのためです——II コリント 13:14。
 2. 三一の神（父、子、霊）は、手順を経て命を与える霊と成りました。それは、わたしたちが彼から飲むことができ、彼がわたしたちの享受となることのできるためです。これは神聖な三一の神聖な分与です——ヨハネ 1:14. 4:14. 7:37-39. I コリント 12:13. 15:45 後半。
 3. 神聖な三一は神聖な分与のため、すなわち、神をキリストにある信者たちの中へと分配するためです。起源としての御父は源泉であり、表現としての御子は泉であり、伝達としてのその霊は流れです——ヨハネ 4:14. 7:37-39。